パッド形プレーキ

交流操作直流電磁式

交流操作直流電磁式パッド形ディスクブレーキは、無励磁制動形ブレーキで安定した制動力を発揮し、保守が容易、 音が小さいなど多くの優れた特徴をもっています。

クレーンの横行・走行用、台車用、ローラコンベヤ用などの制動用及び保持用として新しく開発された高性能ブレーキで、従来のドラム形ブレーキに代わって普及してきています。





特徵

● シンプルな構造で小形軽量

制動力発生機構は、マグネットと制動ばねがディスクロータの側面に組み込まれているため、構造が簡単でしかも小形軽量です。 また、ブレーキの据え付けや保守・取り扱いが非常に容易です。

●安定した制動力

ディスクブレーキがドラム形ブレーキに比べ、放熱面積が大きく制動仕事量が大きくとれるため低速回転から高速回転まで安 定した制動力を発揮します。

●ショックが小さく制動音が静か

マグネットの可動部分のストロークが小さいので制動時や開放時のショックが少なく、制動音も静かです。

● 保守作業時間の短縮

ドライブッシュの採用により、給脂作業の時間を削減致します。

定格

ブレーキの種類	PB3形 制動用ブレーキ/クレーン横行・走行用、台車用、ローラコンベヤ用(巻き上げ用には使用できません)。										
ノレーヤの性類	PL3形 保持用ブレーキ/クレーンなどの搖動防止用(巻き上げ用には使用できません)。										
据え付け方式	標準仕様/床据え付け形津、特殊仕様/壁取り付け形(軸直角)・・・V・Z形、 壁取り付け形(軸水平)・・・K形										
作動方法	無励磁作動										
周囲温度	-10°C ~ +40°C										
操作部保護構造	簡易防じん形(本体は無保護形)										
操作部絶縁種類	F種絶縁										
定格電圧及び定格周波数	AC単相200/200V-50/60Hz 又は400/400V-50/60Hz 注2										
操作部使用率	100%										
操作部動作回数	400回/時										
時間定格(保持用)	連続										
塗装色	マンセル 7.5BG6/1.5										

- 注 1. 軸水平より ±45 度傾斜まで左右に取り付けることができます。(P.5「取り付け方向」参照)
- 注 2. 200V 級と 400V 級は端子の接続替えによりできます。(P.5「接続図」参照)

仕 様

制動用ブレーキ(ディスクロータはオプションです)

ブレーキ形式	PB3-3	PB3-6	PB3-12
定格制動トルク(N·m)	15~30	30~60	60~120
許容制度仕事量(J/min)	20,000	32,000	49,000
許容最大制動仕事量(J)	129,000	192,000	287,000
許容制動回転速度(min⁻¹)	2300	1800	1600
ブレーキ吸引時間(s)注1	0.15	0.25	0.30
ブレーキ離反時間(s)注1	0.30	0.35	0.45
ディスクロータ標準寸法 外径×厚さ(mm) 注2、注3	250 × 12	300 × 12	350 × 12
ディスクロータ慣性モーメント(kg・m³)	0.038	0.075	0.14
質量 本体/ディスクロータ(kg)	14/7	24/12	40/18

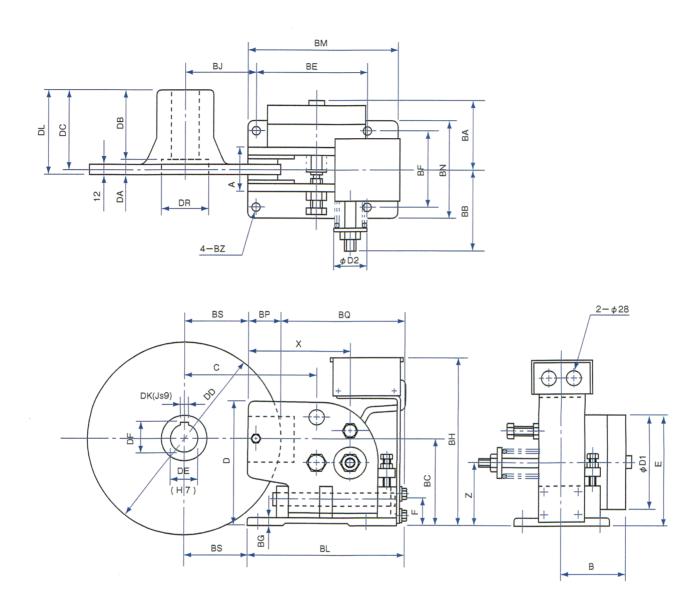
- 注 1. 動作時間は定格制動トルク、規定ストロークにおける値です。
- 注 2. ディスクロータの材質は、ねずみ鋳鉄 (FC250) です。
- 注 3. ディスクロータの厚さは、 $10\sim 20$ mm (PB3-3 は $10\sim 15$ mm) の範囲であれば特殊加工によって対応可能です。

保持用ブレーキ (ディスクロータはオプションです)

ブレーキ形式	PL3-5	PL3-10	PL3-20		
定格制動トルク(N·m)	50	100	200		
ディスクロータ標準寸法 外径×厚さ(mm)注1、注2	250 × 12	300×12	350 × 12		
質量 本体/ディスクロータ(kg)	14/7	24/12	40/18		

- 注 1. ディスクロータの材質は、ねずみ鋳鉄 (FC250) です。
- 注 2. ディスクロータの厚さは、 $10\sim 20$ mm (PL3-5 は $10\sim 15$ mm) の範囲であれば特殊加工によって対応可能です。

ディスクブレーキ外形寸法図 (mm)



外形寸法 • 構造

形	式		ブレーキ本体															
制動用	保持用	BE	BF	BJ	вм	BN	вс	ВА	ВВ	BG	вн	BL	ВР	BQ	BS	BZ	Α	В
PB3-3	PL3-5	135	100	95	185	130	112	95	105	10	230	195	40	155	85	10	58	90
PB3-6	PL3-10	165	120	115	225	150	132	110	130	12	260	235	50	185	100	12	68	104
PB3-12	PL3-20	195	140	130	270	180	160	130	145	15	300	285	65	220	110		86	121

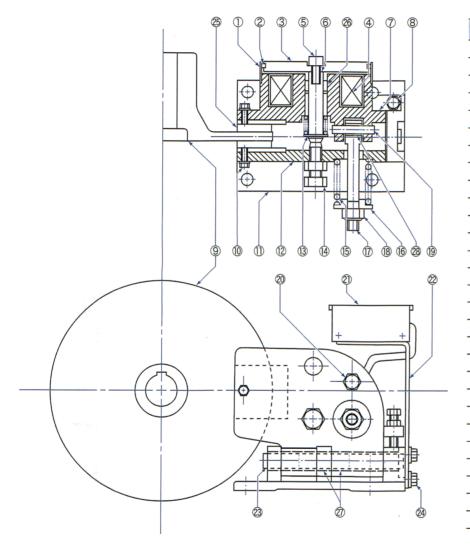
注. 上表寸法以外の軸径、キー寸法(公差)の場合は、軸径(DE)の未加工品を用意してありますのでお客様で加工願います。

ディスクブレーキ構造図

ディスクブレーキ構造図

このディスクブレーキは、支点のピン部が1か所で構成された構造簡単なブレーキです。

- 主部品はブレーキ台、アーム A、アーム B で直流電磁石はアーム A と一体形になっています。
- 電磁石コイルはミューレンジ(エポキシ樹脂)で固定され、絶縁性を高めています。
- ●手動ブレーキ開放のボルトが設けてありますので、簡単にブレーキが開放できます。
- 調整部はライニング左右ギャップ調整と、マグネットストローク調整、制動トルク(制動ばね)調整の3か所あります。特に、制動トルク調整は、制動ばねが外部にあるので調整が容易です。



項番	名 称
1	カバー
2	パッキン
3	吸引板
4	コイル
5	吸引板取り付けボルト
6	ロッド
7	アームA
8	倒れ調整ボルト
9	ディスクロータ(オプション)
10	ライニング取り付けボルト
11)	ブレーキ台
12	アームB
13	吸引板戻しばね
14)	ストローク調整ボルト
15)	制動ばね
16	ばね受け
17)	めがねボルト
18	制動ばね調整ナット
19	連結ピン
20	手動ゆるめボルト
21)	制御箱
22	取り付け金具
23	連結ピン
24	金具取り付けボルト
25	ライニング(パッド)
26	ドライブッシュ
27	ドライブッシュ
28	ドライブッシュ

ブレーキ本体									ディスクロータ(オプション)									
С	D	E	F	Φ D1	X	Z	<i>Φ</i> D2	質量(kg)	DD	DA	DB	DC	DL	DR	DE	DF	DK	質量(kg)
170	162	150	32	135	125	82	35	14kg	250	20	82	96	102	50	32	35.3	10	7kg
205	192	175	42	155	155	97	49	24kg	300	8	112	114	120	70	42	45.3	12	12kg
235	230	210	50	190	185	115	63	40kg	350	23	112	129	135	85	48 55	51.8 59.3		18kg

動作説明

● 制動動作

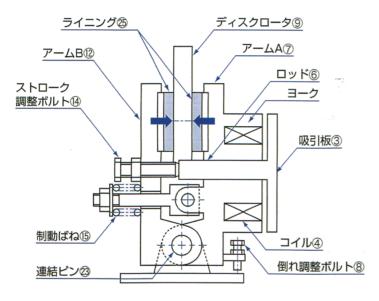
直流電磁石コイル④の電流を OFF にすると、制動ばね⑤の作用でアーム A⑦とアーム B⑫は連結ピン③を支点として互いに接近する方向に動きます。

このため、アーム A⑦とアーム B⑫に固定されたライニング⑬がディスクロータ⑨を押し付け制動力が発生します。

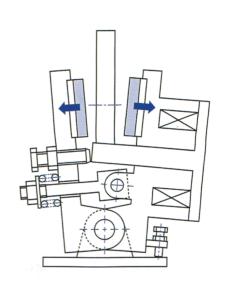
● 開放動作

直流電磁石コイル④に電流を ON すると、アーム A⑦のヨークと吸引版③は制動ばね⑤の力に打ち勝って互いに吸引されます。このときロッド⑥がストローク調整ボルト⑭の先端を押し、アーム A⑦とアーム B⑫は互いに離反しディスクロータ⑨はライニング⑤から離れ、制動力が開放されます。

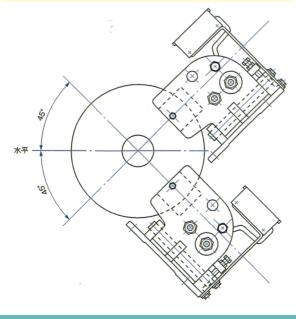
制動動作



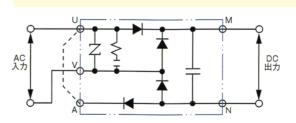
開放動作



取り付け方向図



接続図



AC入力電圧が200V級の場合は、 UーAを接続してください。 400V級の場合は、接続不要です。